

■新たな交通システムを
〜LRT
■公務員制度改革決着

せいじ 便り 12号

揺るぎなき挑戦!!

新たな交通システムを
〜LRT

ガソリン価格が高騰を続けています。投機的動
きがあることも確かですが、先進7ヶ国・7億人
の人々が主としてガソリンを消費していた時代か
ら、中国やインドを含め約30億人もの人々がガソ
リンを大量消費する時代です。投機的動きの背景
には、実需の拡大があり、石油価格が以前の水準
に戻ることは容易でないように思われます。



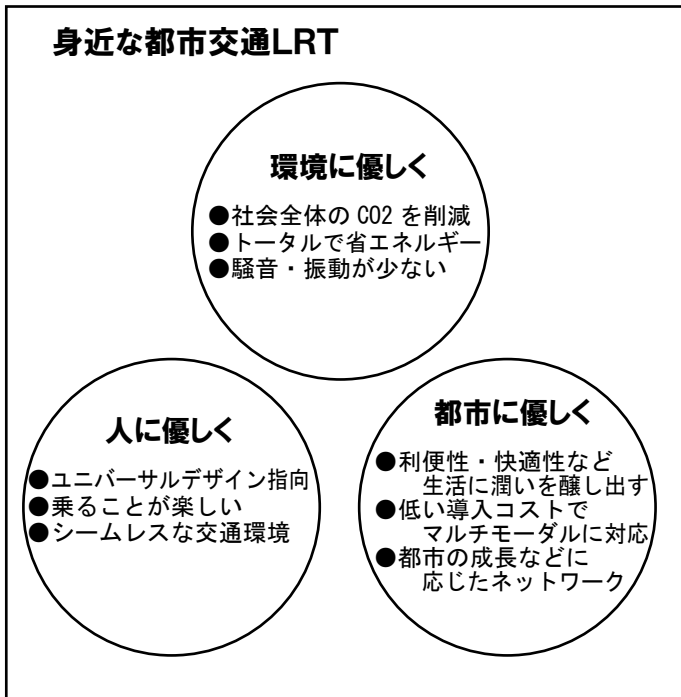
都市交通の先進ヨーロッパでは、よくある町の風景

そうした中、環境負荷の
少ない新交通システムの推
進をより積極的に進めてい
くべきではないかと思いま
す。具体的には、長距離では
リニア・モーターカー、
そして短距離ではLRT
(ライト・レール・トラン
ジット)、つまり路面電車
です。路面電車といっても、
かつてのような大掛かりな
ものではなく、欧州各国で導入が進んでいるのは、
車体もシンプルでバリアフリー化が進んだもので
す。こうしたLRTは排ガス抑制や交通渋滞の解
消に大いに効果があります。

我が国においては、富山市のLRTが有名です
し、都内では、豊島区が池袋駅東口周辺に約2キ
ロのルートでLRTの導入を計画しています。
そこで、この北多摩においてもLRT導入の計
画をたててはどうかと思います。例えば、現在駅
前開発が進む東村山駅西口から先、東大和市、武
蔵村山市にかけては、狭山丘陵の豊かな緑、国宝
正副寺を含めた歴史的建造物、うどんを中心とし
た食文化、温泉、様々な資源があります。清瀬市
や東久留米市には豊かな農地や緑地、柳瀬川・黒
目川の水、高齢化社会に対応した医療・福祉施設
など、多くの貴重な資源があります。これらを
LRTで結びつけていく。更に、点在する商店街

や教育施設と細かく結んでいくことも可
能です。

LRTの利点は、駅建設も不要で、単
線・一方回りにすれば、建設コストや場
所の負担が少ないこと、そして、バリア
フリー化することで、超高齢社会に対応
した人に優しい、地域に優しい交通機関
となりうることにあります。もちろん、
すぐに実現できるものではありませんが、
市民・地域を中心に中長期的に計画をた
てていくことで、街の活性化にもつな
がります。皆様からも貴重なご意見を
いただければ幸いです。



公務員制度改革決着

紆余曲折ありましたが、公務員制度改革
法案が、与野党協議を通じて修正され、
5月29日、衆議院を通過しました。公務
員制度改革に全力を傾けてきた渡辺大臣
が当日、思わず涙する姿は印象的でした。
せいじ便り5号でご報告したとおり、
私も、自民党・国家戦略本部の委員とし

て、また衆議院内閣委員会の委員として、国の形そのものを変える公務員制度改革に力を入れてきました。実際に英国大蔵省という海外の役所で二年間働くという稀有な体験をさせてもらったこともあり、渡辺大臣に対し、直接多くの提言をさせていただきました。

天下り問題は昨年の国会で既に改革がなされておりましたので、今回の主要テーマは、①公務員人事の内閣一元化、②政治家と官僚の接触制限（政官接触制限）、③キャリア制度の見直し、でした。



苦勞の末法案審議にこぎつけた渡辺行革大臣

このうち、「人事の内閣一元化」と「キャリア制度の見直し」は、多少の修正はありましたが実現しました。幹部クラスの人事を官房長官を中心に内閣で一元化することと、縦割り行政の是正、人材の効率的活用につながっていきます。また、一度の採用試験で将来が保証される現行のキャリア制度から、能力・実績に応じて脱落・編入・抜擢もある制度に移行することで、人材の流動化が図れます。

他方、残念ながら、「政官接触制限」は、野党の強い反発で削除されてしまいました。野党の主張は、必要な情報が取れなくなるというものでした。しかし、本来、政官接触制限こそ、国のあり方を変える最大のインパクトを持つものでした。英国では、役人は、大臣や副大臣など限られた議員以外、与野党問わず議員との接触を禁じられてい

ます。ところが、日本の政治は、与野党問わず、役所の説明を受けて、その是非を議論しているのが現実です。役所が設定した土俵で議論することで、政治主導からは程遠い姿になっています。そして、役人は、土俵入りなどが秩序だつて行われるよう、「根回し」と称するものを実施します。だから、「気配り上手」とか「政治とのパイプ」を誇る「政治家的な役人」が生まれるのです。これは、役人の側からの政治家への接触の場合です。他方で、政治家の側から役人への接触では、政治家が役人を呼びつけて、地元の会合用の資料を作れ、明日の講演に使うので外国の状況を至急調べろ、国会質問のためのデータを直ぐに用意しろなどと、個々の議員が役所・役人を個人スタッフのように利用しているわけです。無理難題も多くあります。しかし、本来、役所・役人の仕事は、国民に行政サービスを提供すること。だからこそ、貴重な税金で給料も支払われるのです。政治家は特別な存在ではありません。

いずれにしても、「政官接触制限」により、政策を役所から政治に取り戻す必要がありました。確かに、政官接触の制限で情報入手の仕組みが以前と変わることになります。しかし、インターネット技術が進展し、情報公開も進み、民間のシンクタンクも成長している時代です。役所に頼らずに情報を収集し、政治が独自に政策を立案することは可能なのはです。役所が隠している情報を取れなくなるとの意見もありますが、そのためにこそ、国会の国政調査権や予備的調査権、委員会での資料要求権などがあるわけです。

政官接触制限が実現しなかったことは大変残念なことですが、大切なことは一步一步前進していくこと。その意味では、今回、与野党協議により公務員制度改革が更に進展したことは大きな成果だったと思います。

木原せいじ事務所

■国会事務所 〒100-8982
東京都千代田区永田町2-1-2
衆議員第2議員会館606号室
TEL: 03-3508-7606
FAX: 03-3508-3986

■地元事務所 〒189-0013
東京都東村山市栄町2-22-13
松岡ビル2階
TEL: 042-392-4105
FAX: 042-392-4106



木原せいじモバイル
http://qtv60.com/
kihara/
携帯電話から木原せいじモバイルにつながります。

ボランティアを募集しています!

事務所内における事務、ポスター貼り、各種広報物の配布などお手伝いいただけるボランティアを募集しています。どんな事からでもかまいません。政治に興味があって、木原誠二の政治活動を手伝ってみたいと思われる方は是非ご連絡ください。



国会見学に行きませんか?!

木原せいじ事務所では、随時、国会見学を受け付けています。友達や仲間とお誘い合わせの上、是非ご来館ください。少人数からでもお気軽にご相談いただければ結構です。テレビで報道される国政の生の現場をご案内します。



木原せいじプロフィール

- ・私立武蔵中学・高校、東京大学法学部卒業
- ・大学時代はテニスで全国選抜3位
- ・平成5年大蔵省(現財務省)入省、主計局、大臣官房、国際局課長補佐、税務署長歴任
- ・その間、英国大蔵省出向(初代)
- ・平成17年9月 衆議院選挙当選
- ・現在、厚生労働委員会、内閣委員会、拉致特別委員会、各委員。党では、国際局次長、青年局次長、女性局次長、学生部参与。
- ・趣味はテニス・ピアノ・散歩。座右の銘「至誠通天」。
- ・著書「英国大蔵省から見た日本」(文春新書)

